

**一般社団法人イーストとくしま観光推進機構
外部評価委員会**

日 時：令和 8 年 6 月 2 4 日（水）
1 0 : 0 0 ~

場 所：徳島市藍場町 2 丁目 1 4 番地
あわぎんホール 4 階 会議室 4

次 第

- 1 開 会
- 2 委員の紹介
- 3 議事
 - (1) 外部評価委員会設置要綱の改正について
 - (2) 令和 7 年度第 2 世代交付金事業の評価について
 - (3) その他
- 4 閉 会

以 上

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会 議事録

日 時 令和8年6月24日（水）午前10：00～
場 所 あわぎんホール4階 会議室4

司会	1 開 会 10：00 定刻となりましたので、ただいまから、「一般社団法人イーストとくしま観光推進機構 外部評価委員会」を始めさせていただきます。 はじめに、資料の確認をさせていただきます。 事前にメールでお送りしました資料につきまして、本日は印刷したものをお配りしております。 次第、資料1「外部評価委員会設置要綱と裏面に名簿」、資料2「令和7年度事業報告」、資料3「地域再生計画」、資料4「第2世代交付金実施計画」の以上5点でございます。お手元、資料の不足はございませんでしょうか。 2 委員の紹介 それでは、ここで委員の皆さまのご紹介をさせていただきます。 委員長の、豊田（とよだ）委員でございます。 続きまして、佐藤（さとう）委員でございます。 続きまして、今回から徳島経済研究所の青木委員に代わり井上（いのうえ）委員でございます。 続きまして、梯（かけはし）委員でございます。 続きまして、浅野（あさの）委員でございます。 なお、本日、副委員長の高木（たかぎ）委員は都合により欠席でございます。 また、委員会後には、議事録の要旨を作成し、委員の皆さまの確認を経て、委員長の承認をいただいた後、当機構及び15市町村のホームページにて公開してまいりますので、よろしくお願いいたします。 それでは、議事に移らせていただきます。 委員会の議長は、外部評価委員会設置要綱第5条の規定により、委員長があたることとなっております。 豊田委員長 よろしく願いいたします 3 議事 議事に移ります。議事の進行につきまして、ご協力よろしくお願いいたします。本日の議事は「令和7年度第2世代交付金事業の評価」でございます。内容について、事務局より、報告をお願いいたします。
委員長	
事務局	【資料2前段を中心に説明】 25分

委員長	ただ今の説明につきまして、ご質問はございませんか。
A 委員	いろいろと事業を展開していただきありがとうございます。徳島東部エリアというところは、もともと住民に対しての観光満足度といいますか知識、郷土愛が低い地域なのかなと思います。39 ページの KPI のなかにも住民満足度というものがマイナス 0.2 というなかで 36.3% このあたりがおそらく東部エリアが抱えている一番の問題ではないかと思っています。観光というのはあくまで手段ということだと思っています。観光に取り組む地域として観光に取り組む目的が何かというと、住んでよしという地域をいかにどのようにして対応していくかということではないかと思っています。住民満足度の 36.3%という数字が、他の地域と比べてどうなのかという比較検討をしていかなければいけないのではないかと考えております。最終的には住民満足度の KPI というものが一番重要な実証になるのではないかと考えております。マイナス 0.2 が誤差なのかどうか分かりませんが、このあたりをどのように評価されているのか聞かせていただけたらと思います。
事務局	まず数字自体は決して高い数字ではないと捉えております。A 委員がおっしゃったとおり、やはり住民のところまではいろいろ取り組みも含めて伝わっていないと思います。観光客の方が来られることで間接的に仕事も増えて、地域にもなんらかのプラスアルファがあったかということになりますと、なかなかそういうところが住民の方には届いてない、意識してもらっていないと考えています。 宿泊事業者や観光事業者とのミーティング等も含めていろんなお声をいただきますので、まずは積極的にそのような会合に参加をすることや、一昨年には高校に出張授業でこういう取組をしているということで、地元の若い方々に観光という部分で、まちづくり、まちの受け入れみたいところでしっかり伝えていく、スマホを通じて高校生に情報発信してもらうなど、そういう部分の積み重ねが大事というところで捉えているところです。
A 委員	ありがとうございます。この住民満足度と来訪者満足度がどのようにリンクした数字になっているかはわかりませんが、去年では来訪者満足度もマイナスポイントです。住民満足度が高い地域に来られた方がより満足度が高いのか、来訪者満足度が低いから住民満足度が低いのか、このあたりは卵が先か鶏が先かの話になるのかもかもしれませんが、来訪者満足度、住民満足度というのが観光という部分で大きな中で、マイナスポイントというのは非常に我々の反省の意味も含めてということになると思います。KPI を如何に上げていくのかということが大切になっていくのではないかと考えています。そうであれば観光事業者の単なる自己満足で観光ということで見ているだけになってしまうのではないかと考えています。この二つの KPI をどのようにリンクをさせていくのか、これを如何に東部エリアで仕上げていくのかということが最大の課題になっているのかと思います。このあたりをもう少し意識していくということが大切になっていくと思います。
委員長	今のご質問について、私からもお尋ねしたいのですが、住民満足度というのは資料 22 ページ、左側に調査目的対象があって、2,000 名に対して調査を

	行い、回収率 31%で 625 件あったということですよね。これは毎年同じやり方で調査をされているということによろしいですか。
事務局	そうです。
委員長	その場合、モニターは同じ人に聞いているのか、その都度無作為抽出で別の人に聞いているのですか。
事務局	別の方です。15 市町村の住民の方から無作為に抽出して協力をお願いしております。毎年、別の方になります。
委員長	サンプルサイズもだいたい同じですか。
事務局	去年は 2,000 人まではいかず、約 1,100 人を抽出しております。おとしはもう少し少なかったですが。
委員長	こういう社会調査については、大学で講義してますので申し上げますと、毎年同じ形で調査して 35%から 38%くらいで変動するというのは非常に安定した結果だと思えます。つまりほとんど誤差とみてよいと思うのですが、従いましてこの調査自体は信頼すべきものだと思えます。ただ目標の達成ということについては、上がっていないということです。このあたりを内容を含めて精査する必要があると思えます。元のデータまで遡って精査すれば手がかりが得られるのではという気がしました。 一方で、来訪者満足度の調査についてはいただいた資料の中にはなにか説明がありましたか。調査の方法とか。
事務局	そこは説明できていなかったと思えます。約 30 か所での留め置きアンケートをしています。そのアンケートの中で大変満足、満足という 2 つの項目があり、その合計を集計したというところですよ。
委員長	これも毎年同じシーズン、同じ場所で同じ質問をしているのですか。
事務局	もう少し詳しく申し上げますと、例えば渦の道や阿波十郎兵衛屋敷など同じ場所で留め置きアンケートをしているほか、夏の阿波おどり期間に同じ内容で観光客の方にもアンケートをとっており 3 年続けています。
委員長	インターネットで回答してもらうやり方は回収率が悪いのではないかと何かに書いてあったのですが、それはどうですか？
事務局	実際に夏の阿波おどり期間中のアンケートは、イーストの職員含めて、一部人を雇って対面でやっております。その場でお声がけして OK の方はやってくれるというところですよ。留め置きに関しては積極的な働きかけというところまではいかないところですよ。インターネットの方が回収率が悪いというところのデータは持っていないので、認識はしていないというところですよ。
事務局	625 件回収のうちインターネット回答は 188 件となっております。

委員長	625 件というのはこの来訪者に関するアンケートですか。
事務局	住民意識調査の方です。 2,000 名の方を調査対象として無作為に抽出して、そのうち回収できたのが 625 件で、そのうちインターネット回答が 188 件です。
委員長	そういうことですね。来訪者の方は何件ですか？
事務局	520 件ぐらいです。
委員長	そこそこあるんですね。
事務局	やはり阿波おどりの時にたくさんの方がお越しになられるので、その時にアンケートをお願いすると回収率が高まるというのが実情です。
委員長	徳島大学でもかつて、徳島経済研究所と協力して観光客の意向調査をやったことがありますし、学生たちが卒業研究などで取り組んでくれます。経験上、アンケートを取る場所や天気、イベント、いろいろな要素が影響して、大はずれのときもあるし、すごい好評な声を集めるときもあります。さらにいうと調査員の技量もあって、熱心な学生が聞くといい答えが返ってくるんですけど、アルバイトで雇ったりすると、ひどい場合はスラスラな状態もあり、いろいろ調査上のテクニカルな問題もあって、どの程度ブレがあるのか、相当幅をみておく必要があるかと思っています。
事務局	今の話でいうと、やはり阿波おどりのときに全国から来られているお客さんに対してのアンケートは、阿波おどり自体が楽しいからアンケートの結果がベースの時よりかはいいのではないかと私たちは感じています。その差がどうかとまでは調査はできてないのですが。
委員長	その日がたまたま雨だったとか、例えば渦の道でも春先で大渦のまいてる時に来たとか、見えなかったとかで満足度に大きな差がでますね。
事務局	そうですね。去年でいうとものすごく暑かったり、初日、2 日目も雨だったりとこのところ、そんなところも差が出るかと思います。
委員長	だから KPI、客観的資料っていうのは大事ですけども、住民アンケート以上に来訪者、特に旅行者のアンケートについてはデータの信憑性、精度にはかなり幅があると感じています。
事務局	先ほどの A 委員の発言で、住民とともにお客さん両方が大事だというところで、私たちもそこは認識しております。例えばたくさんの方が来られるようになって、いろんな地域の方、住民の方が行きかう中、その時に声かけてお客さんが喜んでくれたりすると、住民の方も自分の地域が結構いいところだとわかってくれるのかと。そういう意味ではたくさんのお客さんが来ることで住民の意識も少しずつ意識をする機会は増えていくと思います。

	ただ、今度は住民が主体になってどんどん接していくというようなことも私たちは働きかけてるんですが、なかなかきっかけがないと自然には増えていかないだろうと思っており、両方いろんな機会を私たちにも利用させていただいて、サービス精神みたいな性格的なところも含めてどんどん働きかけていくことによって意識が高まっていく、積極的にやっていく必要があると認識をしているところです。
B 委員	先ほどの KPI の話で調査の個数の中でインバウンドの数ってわかるのですか？
事務局	人数はわかりません。
B 委員	国籍はお尋ねにならないですか。
事務局	延べ宿泊者数のうち日本人、外国人ということで把握しております。去年一年間で外国人は 18.8 万人泊、その前の年に比べて大幅に増えています。そのうちの国籍では、その前の年は香港、台湾が多かったですが、去年一年間は 24% が韓国で、18% が台湾、17% が香港ということで、初めて韓国の宿泊割合が香港、台湾を抜いたというのデータとして捉えております。
B 委員	ありがとうございます。一人当たりの観光消費額というのは順調に伸びているように思うのですが、物価上昇分というのはどのくらいインパクトがありますか。
事務局	正直そこまで分析しておりません。私たちの感覚でも明らかに物価が上がっているんで、当然旅行費用も飛行機代も燃料サーチャージ料も含めて国内でも上がっているんで相当影響は受けてきているとは思っております。今後もっと影響が出るようなことで危惧しているところです。
B 委員	物価上昇分を差し引いたところで実際はどうかというのがほんとの実力を図るのに大事というふうに思っているのと、先ほど A 委員が話されたように DMO の存在、最終 KGI 的には観光消費額の存在ですが、その先、住民生活の質の向上というのが大事な目標だと思っています。住民の満足度と来訪者の満足度というのは両方上げていかなければいけないと思いますので、昨年も申し上げましたが住民と旅行者の両方に裨益するような事業をぜひ期待したいと思いました。よろしくお願いします。
委員長	他いなかでしょうか。
C 委員	コンテンツ造成とシビックプライド醸成という二本柱といった、実際にファムツアー作ると、ツアーを造成しなければならないというような成果は出てきていると感じているところです。「しこくるり」アプリも活用していただき非常にありがたいと感じております。その中でデータというのは、イーストとくしまのエリア 15 市町村を広く回遊してもらうことが一つの目標になってくると思います。一側面として鳴門に来ていただいても、鳴門から徳島市周辺に周遊されているかということ、しこくるりのデータを見てみても、そ

	こがなかなか広がっていないというところが側面としてあります。住民意識調査でもより満足度を上げていく、プラスの要素、プラスの考えの住民を増やしていくということは、鳴門市だけではなく徳島市、そのほか市町村に広げていくという中で、また回遊してもらうというところで、今の取り組みプラスアルファでどういうお考えをもっているのかお聞かせいただければと思います。
事務局	15 市町村ありますので意識としては、とにかく回遊と考えています。15 市町村を回遊してもらうにはどうしたらいいか。ひとつはいろんなコンテンツの中で何をもって面白いかは難しいですが、従来の観光以外のところでどんどん発信をして簡単なプログラムをつくって、旅行会社の商談会で案内しております。紹介する旅行会社も観光素材を常に見つけており、やはり面白かったら来てくれるということを去年もおとしも経験していますので、積み重ねでそういう発信をしていくというところがまず 1 点です。 それと去年できなかったのですが、今年度の事業からやっぱり回遊率をあげていくということでシェアサイクルの事業をしようとしています。3 年間にわたって 15 市町村ということで考えており、点から点の、観光地から観光地へ行きやすくなるということを考えています。 また、先ほど事業説明で申し上げた多言語デジタルガイドをもっと設置していき、ガイドがいなくても外国人の方にもわかるような、そういった働きかけをして、少しでも回遊率をあげるように取組んでいるところです。
C 委員	ありがとうございます。地元の高校生や、今まで観光に携わってこられてなかった外部の方と協力していただけても、都市の魅力、特に住民の、それこそシビックプライドの、実はこういういいところがあったという発見につながる、そういったとこで巻き込んでいく、うまいこと成功に繋げていくというように進めていただければと思います。
委員長	C 委員が今回来られているので、むしろ教えていただきたいことがございます。回遊性というのは観光ツーリズムを考える上で非常に重要な概念だと思うんですけど、いくつかのスケールがあると思います。例えば徳島市中心部のホテルに泊まって、どこ回りますかというエリアもありますし、例えば瀬戸内芸術祭で四国に来たという人たちに徳島に来てもらう、あるいは大阪万博や大阪に来た人たちに徳島に来てもらうというより広域な回遊もあるわけです。おそらく四国ツーリズム創造機構では、そういう状況とか把握されていると思うのですが、C 委員から見て徳島東部圏域の特徴や課題についてはどのようにお考えですか。
C 委員	課題といたしましては、ここで意見を出していくのはなかなか難しいですが、徳島は大阪から近いので、関空からのマーケティングがある一方で、現状、四国というと瀬戸内から来られる方のほうが多いです。四国単独ではなく、中国地方や関西地方を回った後で四国に来るという傾向が見られます。
委員長	それは、インバウンドですか。

C 委員	インバウンドになると関西、中国地方、四国、瀬戸内で帰るというパターンが現実としてあるだろうと思います。瀬戸内に来てる方を、徳島にどう回遊させるか、広域的にいうとそこが課題になります。ただ徳島の特徴としてはそれだけではなくて、関西に近いので、両面を活かせるというのが徳島の回遊を増やしていく上でのメリット、プラス要素です。
委員長	じゃあ高松空港で阿波おどりをやるとか、もっと広域に打って出るやり方もあるかもしれませんね。
事務局	徳島への誘客ということで、東京、関東圏からの観光客は、徳島だけに泊まるというのはめったになく、やはり四国 4 県を回りたいか、他のところに行きたい人が多く感じられます。 2018 年と 2023 年に KPI のデータで当機構の事業で調べたときに、平均訪問件数は 1.2 から 1.29 とそんなに伸びなかった。1.2 という数字は、徳島東部に来たお客さんが観光箇所を回った件数というデータですが 2 件ありません。イメージとしては、東京から来た観光客が鳴門の渦潮を見て、その後は道後温泉や香川県など徳島だけではなくて他のところにも行ったようで、徳島には 1 件と少し立ち寄ったという感じです。それをもう少し増やすためには、もうひとつこんなところがあるので、ついでに寄ってもらおうというみたいな増やし方が必要です。 あと関西圏からは、C 委員が話された高松経由から入ってくるお客さんと淡路島ルートからのお客様で、鉄道や車だったりしますが、淡路島ルートからの車の方は淡路島で降りる人が多い。そのお客さんをいかに鳴門エリアや徳島方面へ来ていただくかというところでプロモーションが必要なのかと思います。 高松や岡山でもっと PR をするのが、さきほどの高松空港で阿波おどりをすればというのとほぼ同じ考えです。まだまだ、そういう場所における宣伝が少ないという感じです。 海外の方、特に韓国の方は直行便があるので、わりと近いところを回っているみたいですが、台湾、香港の方は、もっと広域的に回っていると聞いています。台湾、香港の方は 3 泊 4 日、4 泊 5 日で広域的に回っていますけど、関西、四国となったときに徳島ではよくて 1 泊、もしくは観光地だけ見て宿泊は香川県や愛媛県というところがまだまだ多いかと思っています。滞在時間をいかに増やしてもらおうかというところが必要となってくる。滞在してもらうためには、なにか居てもらえるようなコンテンツが必要になってくるのかと思います。 阿波市は高松市から直接結構来られているということを聞いたのですが。
B 委員	そういう話は聞きます。コンテンツがないものはないで仕方ないと観光協会とも話しているんですが、阿波市には 4 か所の札所があります。1 番札所が鳴門市で、板野町と上板町を通して、阿波市も 4 か所札所があり、遠い昔から 10 か所参りという風習もあります。今の時代ではだめですけど、娘さんは 10 か所参りをしないと嫁にいけないと言われていた時代もあったということで、この 10 か所参りが廃れているというのは少し寂しい気がしています。周遊に関しては、阿波市だけで声をかけてもだめなんで、4 つか 5 つ

D 委員	の自治体で協力してやらないといけないというのもあると思います。1泊2日で10か所参りしてもらえればいいと思っています。お遍路には人が来ているので、お遍路プラスアルファをもう少し楽しんでもらえれば、できればイーストさんの事業でも少しふやしていただければと思っています。 お遍路ですが、阿波十郎兵衛屋敷の周りにも西国33か所の写し霊場があります。自転車で回ってみたら、見渡す限りの鳴門金時畑の真ん中であったり、結構自分としては楽しかった。県のウーキング協会の人も何回も歩いて回ってくれたりした。あまりにローカルすぎるが、ウォーキング雑誌にでも売り込めば、結構全国から人が来たりして、十郎兵衛屋敷にもよってくれたりするかもしれないと思いました。 回遊については、鳴門のお客さんを徳島市や阿波市に引っ張ってくることをまず考えればいいのではと思います。コロナの時に鳴門市や徳島市のホテルを見て回った。お盆の時も、徳島市内のホテルは閑古鳥が鳴いていたが、そんな時に鳴門市のホテルは一部ではお客がいっぱいだった。阿波おどりが中止になったときと思うんですけど、鳴門のホテルに聞いたら、うちのお客さんは阿波おどりはあまり関係ないし、徳島市にも行っておらず鳴門で完結しているといいます。海水浴もできるし、鳴門の阿波おどりもあると言うんですね。鳴門は別格だと思いました。そのお客をなぜこっちに引っ張ってこれないかと、強くその時思いました。 そう考えると、鳴門徳島自転車道というのもあるし、撫養航路といって新町川を守る会が船で月1回ぐらい運航しています。船や自転車、JR、市バスもあるので、いろいろな手段でつながる。先ほどの10か所参りも鳴門が一番札所であり、四国4県からしても玄関で港口であり一番高いと思います。鳴門市～徳島市、鳴門市～阿波市のルートはもったいないなと思いました。イーストさんの事業も、あまりに多くの事業をやりすぎているような気がしました。 徳島県の規模、自治体の規模は小さいじゃないですか。絶対大都市にはかなわないんですね。ついていくだけで精いっぱいだと思います。ほかの県と180度考え方を切り替えてやっていかなくてはだめなのではないかと思いました。今は知りませんが、昔高知県で全国の自治体が大阪や東京と同じような観光施策をしている時代に、高知県は東南アジアに対して広げていく。ほかの自治体が東京や大阪に向いてついていこうとしたときに、180度方向を変えました。そういう発想の事業も必要なんじゃないかなと思いました。特にプロモーション、それも徳島のDMO、観光協会は、ほかの県と同じことやってたらだめなのではないかと思います。 プロモーションをしていくというのは、東京や大阪に徳島がそこと同じことをしててもついていくのが精いっぱいだと思います。 ほかの県と同じことをしては、いつまでたっても浮かび上がれないというのが現実ではないかと思います。
委員長	たくさんご意見をいただきました。私のほうで気がついたこと、考えついたことを補足しておきます。

	今聞いておりますと、DMO が何を目標に掲げ、何を達成していくのかということに尽きると思うんです。その中で、最初、A 委員からご指摘があったように、地域の生活の質を上げる、その中で住民のシビックプライド、愛着が高まり、そうした誇りというもの観光の起爆剤になっていくというのは、全くその通りだと思います。DMO がやっておられる住民アンケートと来訪者アンケートの整合性をとりながら、それを両輪として進めていくという方針は、非常に重要だと感じました。同時に、観光の情報発信もさることながら、地域の観光の担い手、地域の良さを地域の住人の人たちにしてもらうということは、徳島大学も協力しますので、ぜひ引き続き取り組んでいただきたいと思います。 二つ目は、DMO が果たすべき役割はやはりネットワークを作っていくことだと思います。地域 DMO というのは、イーストとくしま 15 市町村の自治体の壁を超えて、一体となって、地域の魅力を高めていくということにあります。それだけではありません。今お話ししていただいたように、人形浄瑠璃なら人形浄瑠璃、お遍路ならお遍路、ホテル経営ならホテル経営で、それぞれの事業者さんが努力して取組みをされています。そうした各事業者、民間事業の取組を結びつけながら、限られたメンバーですけど、面白い話が聞けるものですから、それをホームページなどにストーリーという形で発信していくというのが非常に大事なことだと思います。 非常にたくさんの事業が並んでおります。住民の満足度を上げるということと、観光に来られた方もネームアピールを高めていくということを両輪として、今あるそれぞれの事業者さんや市町村の取組をネットワークしながら、ぜひ取組みいただけたらと思います。 あとひとつだけ、来年度の事業として計画されていますシェアサイクルについて、可能性はあるけどリスクもあると思います。さっきも言ったように本来の役割は調整機能ですよ。だから DMO がどこから予算を取ってきて、起爆剤をつくるというのは OK ですが、DMO が事業主体になるわけではないですよ。
事務局	事業主体にはなるスタンスではいますが、シェアサイクル事業は 3 年計画で 4 年目には完全移譲するというスタンスなので、地域の事業者に入ってもらい、あとは地域の事業者で運営してもらうという組み立てをしているところです。
委員長	都市部では事業主体はしのぎを削っており、ビジネスモデルとしてしっかりやっています。そうしたことも参考にさせていただいて、徳島でできる形につくっていくということがこれから課題になると思います。 今日は外部評価委員の方々からご意見を賜りました。 以上を持ちまして、意見交換を終えたいと思います。
事務局	本日は、委員の皆さま方から大変参考となるご意見を頂きました。 ありがとうございます。 今年度の事業に活かしてまいりたいと思います。
委員長	それでは、最後に事務局からその他の事項の説明をお願いします。

事務局	会議冒頭にも申し上げましたが、本日の議事録は、要旨を当機構や15市町村のホームページで公開することにより、地域住民に広く周知していくことといたします。後日、メールで議事録の確認のお願いをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 4 閉 会 これをもちまして、本日の外部評価委員会を閉会いたします。 委員の皆さまには、円滑な議事進行にご協力をいただくとともに、活発なご意見を賜り誠にありがとうございました。
-----	--

終了時刻 11時37分

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構

外部評価委員会設置要綱

(目的)

第1条 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構（以下、「機構」という。）が、交流人口の増加や徳島県東部圏域の活性化を図るため、地域未来交付金を活用して実施する事業の評価や効果等を検証するため、一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会（以下、「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事務を所掌する。

- (1) 徳島県東部圏域の延べ宿泊者数、観光入込客数等の重要業績評価指標の評価や検証に関すること。
- (2) 重要業績評価指標の進行管理に関すること。
- (3) その他必要な事項についての提言に関すること。

(組織等)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員で構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 観光地域づくりに関連する者
- (3) その他、必要と認められる者

2 委員の任期は、要綱の施行の日から令和9年3月31日までとし、再任を妨げない。委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第4条 委員会には次に掲げる役員を設置する。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- 2 委員長は、委員の互選による。
- 3 副委員長は、委員長の指名による。
- 4 副委員長は、委員会の進行にあたり、委員長を補佐し、委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、機構事務局において所掌する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項については、委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成31年1月18日から施行する。

附 則

この要綱は、令和5年6月9日から施行する。

附 則

この要綱は、令和7年6月19日から施行する。

附 則

この要綱は、令和8年4月1日から施行する。

**一般社団法人イーストとくしま観光推進機構
外部評価委員会委員名簿**

(任期：令和7年6月24日～令和9年3月31日)

	氏 名	所属等	区分
委員	豊田 哲也	徳島大学 教授	学識経験者
委員	高木 博代	モンドジャコモ有限会社 代表取締役	女性経営者
委員	佐藤 憲治	NPO法人 阿波農村舞台の会 理事長	NPO法人
委員	井上 郷平	徳島経済研究所 研究員	経済団体
委員	梯 学	ホテルサンシャイン徳島 総支配人	宿泊事業者
委員	浅野 敏司	スモトリ屋浅野総本店 代表取締役	遍路関係事業者

(井上委員：令和8年4月1日～令和9年3月31日)

令和 7 年 度 事 業 報 告

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構

令和 8 年度外部評価委員会
(第2世代交付金 外部評価委員会)
2026年6月24日

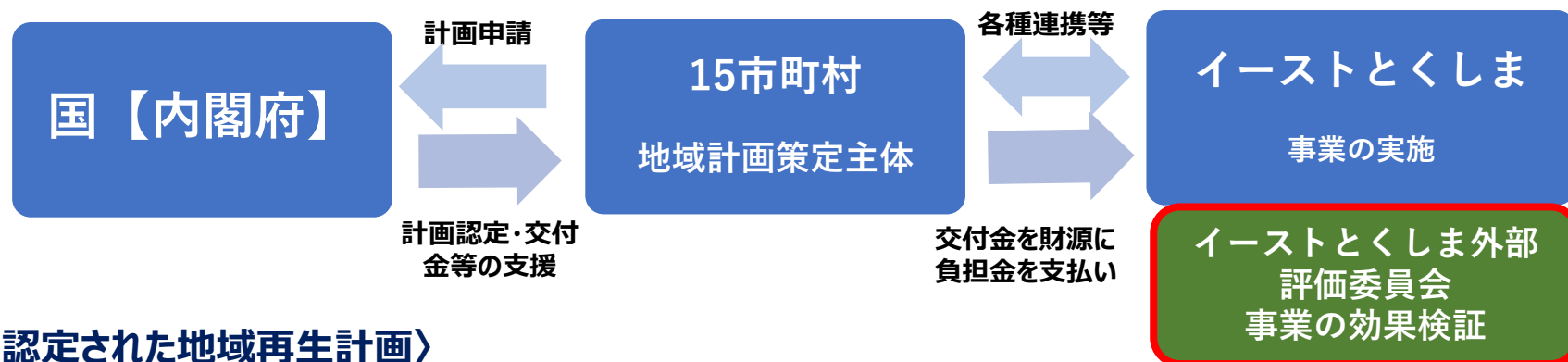
議事内容

第2世代交付金の概要



<第2世代交付金とは>

従来の「デジタル田園都市国家構想交付金」を発展・統合した制度地方創生関連交付金を発展させ、地方公共団体が地域の実情に応じて行う独自の取組を支援する制度。



<認定された地域再生計画>

認定日：R3.3.30内閣総理大臣認定

計画の名称：イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現

計画期間・採択事業費：R3～R7年度の5年間、5か年事業費153,920千円

<事業の効果検証>

事業の実施主体者となるイーストとくしまでは、国の「新しい地方経済・生活環境創生交付金制度要綱」に基づき、地域の実情に応じて、**効率的かつ効果的な事業に努める**。効果測定においては、**客観的な指標（KPI）を設定し、達成状況を検証**。

<外部評価委員会>

「イーストとくしま外部評価委員会設置要綱」に基づき、**毎年度の交付金事業の効果検証のため**、学識経験者等の第三者による**事業評価・効果検証**を行い、結果を当機構や市町村のHP等で公表。



徳島東部の構造的な課題

- 徳島東部には、「阿波おどり」や「鳴門の渦潮」といったキラーコンテンツはあるが、通年型・滞在型の観光に至らず、**宿泊者数では、全国でも下位の常連。**
- 地域の魅力度ランキングでも、全国的に下位で、**地元を愛し、地域の価値を理解してもらい、観光地としての魅力の底上げを図るシビックプライドの醸成も喫緊の課題。**

徳島東部の目指すべき将来像

- 人口減少社会で、「外貨」の獲得と**地域住民の活躍の場を創出できる“観光”**を地域活性化の切り札として捉え、「訪れてよし」、「住んでよし」の観光地域づくりを推進し、**持続可能な地域づくりを目指す。**

事業の実施内容

○ニューツーリズム推進事業

伝統文化、遍路、自然などを融合した地域固有の体験型アドベンチャーツーリズムの推進、豊富な農産物や地域資源を活かしたコンテンツを観光資源として磨きあげ、「ニューツーリズム」として推進。

○シビックプライド醸成・人材育成事業

観光業での創業や新ビジネス創出に繋がる人材育成の取組みを推進するほか、観光ガイドなどの養成に取り組む。また、地域住民向けのSNS情報発信で、住民が地域の魅力を再発見する取組みを行う。

○面的DXの推進事業

観光アプリ「しこくるり」を用いて、徳島東部が一体となって、旅行者へのシームレスな旅を提供するとともに、本格的なDMPとCRMを推進。

○大阪・関西万博関連事業

万博開催の機会を活用し、関西の関係機関と連携した広域周遊コンテンツの造成や、関西での集中的プロモーションによる誘客を促進。



<説明Ⅰ>

決算状況

令和7年度決算等の状況について
令和7年度の事業について

<説明Ⅱ>

第2世代交付金を活用した取組みについて

<説明Ⅲ>

交付金以外の財源を活用した取組みについて

<説明Ⅳ>

観光消費額、延べ宿泊者数等の各種KPI指標について
地域再生計画数値目標数値（重要業績評価指標 K P I）について
その他KPI達成状況について

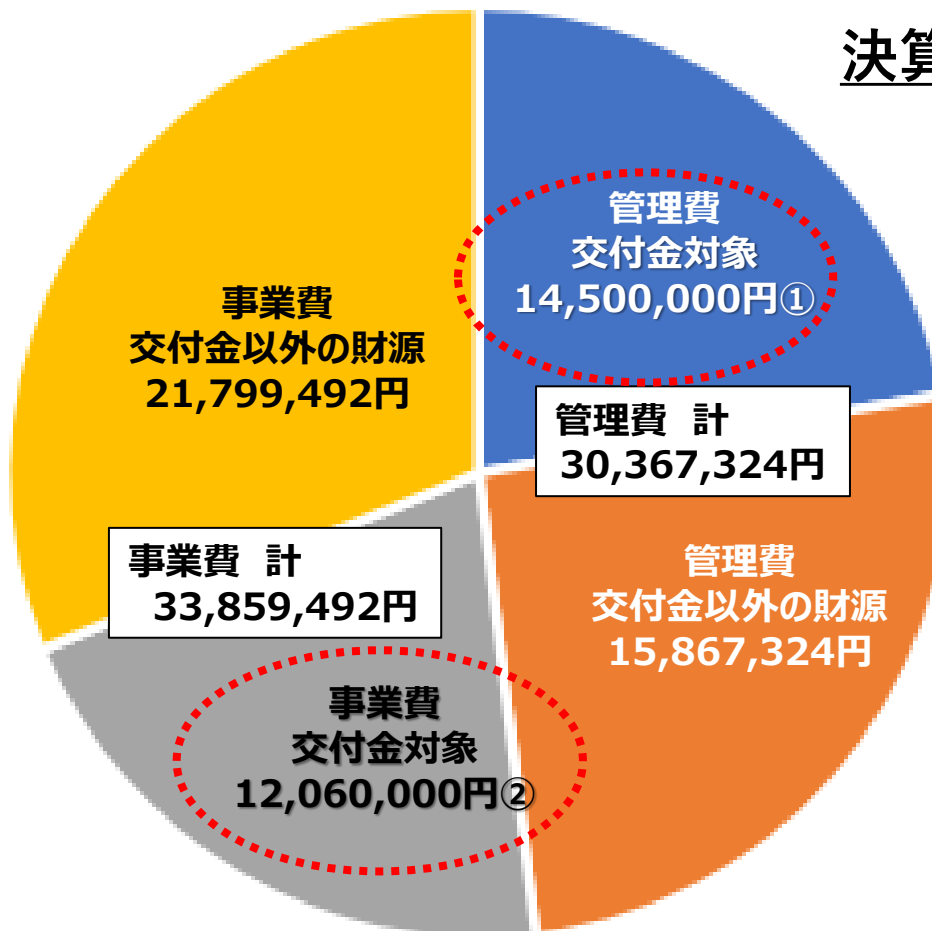
説明 I

決算状況



令和7年度決算等の状況について

決算額 64,226,816円



管理費	30,367,324
第2世代交付金対象	14,500,000
事業費	33,859,492
第2世代交付金対象	12,060,000
決算 合計	64,226,816
第2世代交付金対象	26,560,000

管理費：職員人件費、事務所賃料、光熱費などの組織の管理運営経費

事業費：誘客促進のための各種取組みに係る費用

地方創生推進交付金対象① + ②
26,560,000円



令和7年度決算等の状況について

第2世代交付金の事業経費内訳

(単位：円)

	計画額 A	実績額 B	差 B-A
管理費 I	14,500,000	14,500,000	0
(1)誘客促進に係る職員等人件費・組織管理運営に係る経費	14,500,000	14,500,000	0
事業費 ①+②+③+④ II	12,060,000	12,060,000	0
①新たな旅行スタイルに対応したニューツーリズムの推進事業	6,000,000	6,000,000	0
SNSプロモーション・HP情報発信・観光素材集製作費	4,800,000	5,490,500	690,500
AT・STの造成・磨き上げ費（委託費）	700,000	361,821	▲ 338,179
ニューツーリズム推進に係る事務費	500,000	147,679	▲ 352,321
②シビックプライド醸成・観光人材育成・観光地域まちづくりの推進	3,160,000	3,160,000	0
観光満足度・住民満足度調査費	1,260,000	1,732,000	472,000
マイクロツーリズム推進費用	700,000	726,000	26,000
観光人材育成費	500,000	141,171	▲ 358,829
観光地域まちづくりWG運営費	500,000	444,295	▲ 55,705
シビックプライド醸成に係る事務費	200,000	116,534	▲ 83,466
③面的DXの推進	1,400,000	1,400,000	0
周遊促進に向けた企画商品開発・運営費	800,000	1,185,800	385,800
観光デジタル人材の育成費	500,000	170,048	▲ 329,952
面的DX推進に係る事務費	100,000	44,152	▲ 55,848
④大阪・関西万博関連事業	1,500,000	1,500,000	0
周遊コンテンツの造成費	500,000	917,950	417,950
関西方面での集中プロモーション費用	1,000,000	582,050	▲ 417,950
合 計 I + II	26,560,000	26,560,000	0



令和7年度の事業について

★第2世代交付金を活用した事業 **R7：12,060,000円**

【主要な事業】

- ファムツアー・メディアツアーの実施、展示会・商談会への出展
- スマホ一日乗車券ワンコインキャンペーン **(1,165千円)**
- 日本の伝統文化体験コンテンツ造成事業 **(1,000千円)**
- WEBプロモーション事業 **(4,000千円)**
- 観光地域づくりに向けた意見交換会 **(444千円)**
- 観光デジタル人材育成支援事業 **(170千円)**
- 観光コーディネーター養成講座の開催 **(141千円)**
- 観光地域づくり住民意識調査・観光アンケート調査 **(1,732千円)**
- 観光地域まちづくり会議等開催費 **(199千円)**
- HP運営事業 **(726千円)**



令和7年度の事業について

★第2世代交付金以外の財源を活用した事業

・観光庁などの国の補助金、県の補助金、市町村等からの事業受託

- 大阪・関西万博会場などでのプロモーション
- 徳島駅周辺グルメガイド制作事業（500千円：県受託事業）
- 大阪での阿波おどりプレイベント事業（1,600千円：徳島市受託事業）
- 訪日外国人動向調査事業（1,540千円：徳島市受託事業）
- 多言語デジタルガイド制作事業（R7新規）
（3,200千円：観光庁補助事業、徳島市受託事業）
- インバウンド受入環境整備事業助成金（R7新規）
（1,240千円：県補助事業）
- 藍のれんあるまちづくり推進事業（380千円：県補助事業）

説明Ⅱ

第2世代交付金を活用した取組み

徳島県東部エリアへの誘客に向けた取組（ファムツアー・視察）

ファムツアー（主催2回）

No.	日程	内容	行程	参加者
1	12/10	鳴門ブルーを彩るこだわり旅モニターツアー（文化体験）	徳島、藍住、鳴門	国内・訪日旅行会社 4社ほか(9名)
2	12/17	鳴門ブルーを彩るこだわり旅モニターツアー（サイクリング）	鳴門、藍住	観光関係事業者ほか(11名)



ファムツアー・視察（アテンド6回）

No.	日程	内容	行程	No.	日程	内容	行程
1	6/20-21	関空促進協 タイ旅行会社ファムツアー	徳島、鳴門	4	9/15	米国ATファムツアー (米国旅行会社)	徳島、鳴門、上板
2	7/9	駐日外交団地方視察ツアー (関西広域連合・Iトラベル)	勝浦、上勝、徳島	5	10/7	タイ旅行会社ファムツアー	徳島、北島、鳴門
3	9/1-2	台湾旅行会社ファムツアー	鳴門、松茂、徳島	6	11/17	せとうちDMOファムトリップ (欧米旅行会社)	鳴門

徳島県東部エリアへの誘客に向けた取組（メディアツアー）

メディアツアー（主催3回）

No.	日程	内容	行程	参加者
1	5/26-27	大阪・万博会場から徳島への誘客に向けたメディアツアー	鳴門、徳島、小松島	日本人映像クリエイター 1名
2	11/26	鳴門ブルーを彩るこだわり旅メディアツアー	鳴門、徳島、藍住	台湾インフルエンサー 1名
3	12/15-16	徳島の“道”をめぐるFAMツアー	鳴門、徳島、佐那河内、神山	韓国ブロガー 2名



メディアツアー（アテンド4回）

No.	日程	内容	行程	No.	日程	内容	行程
1	6/1	NHK WORLD「Biz Stream」撮影	徳島	3	8/13-14	シンガポールライター 阿波おどり取材	徳島
2	8/12	韓国フォトグラファー 阿波おどり撮影	徳島	4	10/26	香港インフルエンサー招聘 (JNTO香港事務所)	鳴門、藍住

徳島県東部エリアへの誘客に向けた取組（商談会・説明会）

令和7年度は17回の商談会・説明会に参加し、旅行会社へのセールスを実施

No.	日程	タイトル	会場	相手方
1	5/14	阪急交通社国内旅行推進協力会商談会	徳島市	阪急交通社
2	5/15	オール徳島観光商談会	東京都	国内外旅行会社
3	6/5	香港旅行会社ファムツアー内でのPR	徳島市	香港旅行会社
4	6/18	KANSAI INBOUND MEETING	大阪府	国内外旅行会社
5	7/4	韓国観光商談会	ソウル	韓国旅行会社
6	9/24	タイ旅行会社との商談会	徳島市	タイ旅行会社
7	9/25-28	ツーリズムEXPOジャパン	愛知県	国内旅行会社ほか
8	9/25-27	VISIT JAPAN Travel & MICE Mart	愛知県	国内外旅行会社
9	10/6	四国観光商談会 in 東京	東京都	国内旅行会社
10	10/16	四国観光商談会 in 大阪	大阪府	国内旅行会社
11	10/27	四国インバウンド商談会 in 愛媛	愛媛県	国内外旅行会社
12	11/17	せとうちDMOファムトリップ内での商談	鳴門市	欧米旅行会社
13	2/2	徳島県教育旅行説明会	東京都	国内旅行会社(教育旅行担当)
14	2/9	徳島県教育旅行説明会	愛知県 (オンライン)	国内旅行会社(教育旅行担当)
15	2/10	徳島県教育旅行説明会	大阪府	国内旅行会社(教育旅行担当)
16	2/17	徳島県教育旅行説明会	広島県 (オンライン)	国内旅行会社(教育旅行担当)
17	2/24	JNTOローマ事務所オンラインセミナー	ローマ (オンライン)	イタリア旅行会社



徳島県東部エリアへの誘客に向けた取組（ツアー造成実績）

ファムツアー、展示会・商談会等から新たなツアー造成に繋がった事例（一部）

[illegible]

スマホ一日乗車券ワンコインキャンペーン

【連携】徳島バス・徳島市交通局・徳島県・四国ツーリズム創造機構

徳島東部エリアでの周遊促進策として、大阪・関西万博の来場者を対象に
徳島バス・徳島市バスの路線バス「スマホ一日乗車券」がお得になるキャンペーンを実施

路線バスで徳島東部エリアをおトクに旅しよう!

大阪・関西万博 関西パビリオンの徳島県ゾーンにお越しいただいた方を対象に、徳島バス・徳島市交通局が発行するオールフリー(全区間)のスマホ一日乗車券が500円で購入できるキャンペーンです。

徳島県ゾーンで本キャンペーン専用クーポンを受け取ってください。クーポン1枚につき1枚のスマホ一日乗車券を500円で購入いただけます。

先着500名様限定

大阪・関西万博で徳島に来たなら

スマホ1日乗車券

ワンコインキャンペーン

徳島市交通局 徳島バス

キャンペーン期間 (スマホ一日乗車券の購入・利用期間)
2025年12月31日(水)まで

※ただし、クーポンをお持ちの場合でも、スマホ一日乗車券の購入者が500名に達した場合は予告なく終了します。

徳島バス・徳島市交通局が発行する**スマホ一日乗車券**
(通常大人1,500円)が**500円で購入可能**となるキャンペーンを実施
※2025.5.15-12.31、県内在住者を除く

関西パビリオン 徳島県ゾーンで希望者にクーポンを配布
利用者は、四国観光・旅アプリ「しこくるり」上で
クーポンに書かれたコードを入力し一日乗車券を購入
ワンコインで**路線バス(空港リムジンバス含む)**が一日乗り放題に!



さらに徳島東部エリアの39の観光・宿泊・飲食施設等で
スマホ一日乗車券の画面を提示すれば
商品・サービスの割引やプレゼントなどの特典を提供



実績

クーポン配布枚数	2,000	枚
スマホ一日乗車券 購入枚数	266	枚
スマホ一日乗車券 使用枚数	250	枚

うち202枚(80.8%)は
近畿2府4県在住者

四国観光・旅アプリ「しこくるり」の事業者の参画促進とユーザーの新規獲得により 事業者にも、ユーザーにも「使われる」仕組みへ

対象エリアの拡大 (R7.3)



- ・ 15市町村全体で「旅ぱす」を使えるようにアプリの特集ページを改修
- ・ さらなるデータの蓄積を図り、徳島東部エリア全体にデータ利活用文化を醸成

アプリ体験の向上 (R7.3)



- ・ 徳島東部エリアでの移動距離を積算し、アプリ上でランキング形式で表示する機能を追加
- ・ 月間1位のユーザーには、「旅ぱす」6ポイントを進呈
- ・ ゲーム形式で移動する楽しさを醸成することで、位置情報機能の利用を促進

データ数の増加

①事業者の参画促進



地域としてデータが集まることで参画事業者のビジネスに有益な情報が得られることを訴求

徳島東部エリア 参画事業所数	
R7.3月末	R8.3月末
71 事業所	77 事業所 (見込)

②ユーザーの新規獲得に向けたキャンペーン



スマホ一日乗車券
ワンコインキャンペーン(再掲)
※デジタルチケット機能を活用



徳島東部旅
新規ダウンロードキャンペーン
※R8.3.1～(先着500名)

「スマホ一日乗車券ワンコインクーポン」「徳島県への招待状(高速バス・フェリー)」のPR動画を制作 Instagram、Facebook、Xでの発信を展開

①万博からのアクセス編



②徳島ラーメン食べ比べ編



③藍染め体験編



④お遍路入門編



⑤徳島の夜編



Instagram再生数

12.8万回

6.3万回

9.2万回

1.6万回

11.3万回

公開に合わせて広告配信も実施

- ・国内→大阪・東京・神奈川など都市部を中心に①万博からのアクセス編/⑤徳島の夜編がリーチ数高
- ・海外→②徳島ラーメン食べ比べ編/③藍染め体験編がリーチ数高 特に韓国・フランスで③藍染め体験編が圧倒的人気

観光事業者の皆様と徳島東部圏域の観光地域づくりに向けた意見交換会を開催



第1回 意見交換会

日 時：令和7年10月24日(金) 13:30-15:30

場 所：徳島経済産業会館(KIZUNAプラザ) 3F 会議室

出席者：観光事業者 11事業者 13名
オブザーバ 8名（県・観光協会・DMO等）

内 容：

- ①講演「グイガン・ルール等のフードガイバーシティ対応勉強会」
（株）フードガイバーシティ 代表取締役 守護彰浩氏
- ②意見交換
 - ・徳島東部の食の現状について
 - ・徳島東部の二次交通対策について
 - ・万博後の観光誘客について



第2回 意見交換会

日 時：令和8年1月19日(月) 13:30-16:00

場 所：アスティとくしま 1F 第1会議室

出席者：観光事業者 13事業者 14名
オブザーバ 10名（県・観光協会・DMO等）

内 容：

- ①講演「持続可能な観光」
DAISETSUZAN EXPERIENCE 代表 荒井一洋氏
- ②意見交換
 - ・徳島県東部の持続可能な観光について
 - ・インバウンド誘客について
（シェアサイクル、受入環境整備、プロモーション）

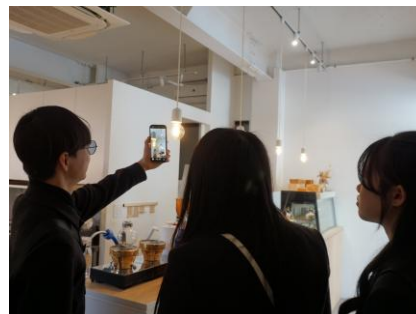
映像作家・藤原薫氏を講師に招き、少人数制のInstagramワークショップを開催 実際に街に出て撮影や編集のコツを実践形式で学び、徳島東部エリアの魅力を発信

一般公募(2/21)：7名参加



日時	2026年2月21日(土) 10:30-15:00	こんな人におすすめ！ ・SNS投稿の経験がある ・徳島の魅力を発信してみたい ・映像づくりに興味がある ・自分の視点で徳島を表現してみたい ・やっぱり徳島が好き
集合場所	徳島市産業支援交流センター オープンスペース 徳島市北河川1丁目4番地 アとユビビル9F	
定員	10名(申込先着順)	
参加料	無料	
必要な物	スマートフォン ※道具は各自でお持ちいただきます	講師 藤原 薫 / 愛媛県出身 東京・京都を拠点に、全国各地で企業の、ブライダルなどの映像制作や写真撮影を行う、とろにプロデューサー・映像士としても活躍。関係者・一般向けに映像制作講座も開催中。 徳島県内に拠点を移したディレクション・カメラマン。映像制作だけでなく、映像制作のノウハウを、ワークショップやセミナーなどで発信。映像制作の魅力を伝える活動にも取り組んでいる。 Instagram: @kaura_protea
申込	締切 2月16日(月) 申込フォームから お申込みください https://forms.gle/1234567890	
主催	一般社団法人イーストとくしま観光推進機構	
お問い合わせ	089-678-2811 contact@east-tokushima.jp	

徳島北高校国際英語科(2/22)：18名参加



徳島大学・徳島県と連携し、観光業界のトップランナーを招いた講座を実施

主催：一社）イーストとくしま観光推進機構
共催：徳島大学、徳島県

**稼ぐ観光地域づくりに
観光コーディネーター養成講座**

観光による地域創生を目的とし、日本の観光業界のトップランナーや地域で活躍するプレイヤーを講師に迎え、最先端の観光地域づくりの考え方や、先進地域の成功事例などを通して新たな観光コンテンツやサービス等を造成する“観光”を担う人材の育成・発掘をする講座です。

11/17(月) 18:30~20:00
「観光業のフードダイバーシティ」
フードダイバーシティ株式会社 代表取締役 守護 彰浩

12/1(月) 18:30~20:00
「観光地域経営のあり方」
JTIC.SWISS 代表 山田 桂一郎

12/8(月) 18:30~20:00
「アンケートと生成AIを用いた観光マーケティング戦略」
（公社）とやま観光推進機構 総合アドバイザー 吉田 秀政

12/15(月) 18:30~20:00
「世界が目指す日本のアドベンチャーツーリズム」
（一社）日本アドベンチャーツーリズム チーフディレクター 山下 真輝

12/22(月) 18:30~20:00
「宿泊事業と観光情報発信」
株式会社トリップシード 代表取締役 小柳 秀吉

1/13(火) 18:30~20:00
「世界の人々が“旅”したくなる地域”をつくるために」
株式会社ライフブリッジ 代表取締役 櫻井 亮太郎

1/19(月) 18:30~20:00
「データ活用による地域観光のイノベーション」
徳島市立大学国際教養学部 准教授 有馬 貴之

・各回とも講義開始10分前より入室してください。
・各回、講義60分 質疑応答30分を予定しております。
・受講用のZoomURLは、各回開催前にお送りします。
・諸事情により講師及び日程が変更になる場合もございます。

お問合せ
一社）イーストとくしま観光推進機構
TEL: 088-678-2811 FAX: 088-678-2877
E-mail: info@east-tokushima.jp

お申込み
イーストとくしまDMOのWebサイト又は右のQRコードを読み取り、Webフォームからお申し込みください
(申込締切は開催日前週の木曜日17時まで)

第1回(11/17) 観光業のフードダイバーシティ	フードダイバーシティ(株) 代表取締役 守護 彰浩
第2回(12/1) 観光地域経営のあり方	JTIC.SWISS 代表 山田 桂一郎
第3回(12/8) アンケートと生成AIを用いた観光マーケティング戦略	(公社)とやま観光推進機構 総合アドバイザー 吉田 秀政
第4回(12/15) 世界が目指す日本のアドベンチャーツーリズム	(一社)日本アドベンチャーツーリズム チーフディレクター 山下 真輝
第5回(12/22) 宿泊事業と観光情報発信	(株)トリップシード 代表取締役 小柳 秀吉
第6回(1/13) 世界の人々が“旅”したくなる地域”をつくるために	(株)ライフブリッジ 代表取締役 櫻井 亮太郎
第7回(1/19) データ活用による地域観光のイノベーション	徳島市立大学国際教養学部 准教授 有馬 貴之
7回総受講者数 472名	



観光客だけではなく、「住んでよし」のまちづくりのため住民の観光に関する意識を調査

■ 観光の取組に参加したいという住民は34.9%

	●凡例	参加意向あり・計			どちらともいえない	参加意向なし・計			無回答	参加意向あり・計	参加意向なし・計
		積極的に参加したい	参加したい	ある程度参加したい		あまり参加したくない	参加したくない	まったく参加したくない			
2021年度全体	(n=191)	4.7%	9.9	25.1							
2022年度全体	(n=611)	2.0	9.8	24.5							
2023年度全体	(n=551)	3.6	9.1	27.2							
2024年度全体	(n=567)	2.5	7.8	24.9							
2025年度全体	(n=625)	2.4	6.9	25.6							

■ 観光客に魅力を伝えたいと考える住民は69.9%

	●凡例	意向あり・計				意向なし・計				意向あり・計	意向なし・計
		とても思う	そう思う	ある程度思う		どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない			
2022年度全体	(n=611)	10.8%		25.7			37.6	17.5	4.6	61.8	38.2
2023年度全体	(n=551)	10.0		24.5			35.6	19.8	5.6	30.9	69.1
2024年度全体	(n=567)	9.9		21.3			31.9	24.3	6.2	1.6	2.8
2025年度全体	(n=625)	8.5		26.9			34.6	19.4	4.2	41.1	58.9

■ この地域に暮らすことに誇りを感じている住民は63.4%

	●凡例	誇らしい・計				誇らしくない・計				誇らしい・計	誇らしくない・計
		とても感じている	感じている	ある程度感じている		どちらともいえない	あまり感じていない	感じていない			
2021年度全体	(n=191)	5.2%	17.8			38.2		20.4	13.1	62.6	37.4
2022年度全体	(n=611)	8.3	20.0			30.4		23.1	10.5	3.1	4.1
2023年度全体	(n=551)	10.3	18.3			29.6		22.1	10.3	5.6	3.1
2024年度全体	(n=567)	10.4	18.0			30.9		19.4	10.2	5.8	3.0
2025年度全体	(n=625)	8.8	22.6			32.0		18.1	9.6	3.8	2.1

▶ 調査目的

- 観光推進のステークホルダーである『住民』における観光推進の浸透度や恩恵の知覚など、DMOの活動やビジョンなどのインパクトの現状を理解する
- 住んでよしの地域づくりを行う上での戦略策定の基礎材料とする

▶ 調査対象

- 「徳島県東部圏域」エリア在住者 計2,000名
 - 住民基本台帳より無作為抽出。
 - 徳島県東部圏域エリア15市町村の人口構成比に合わせ配布を行う。

▶ 調査方法

- 郵送によるアンケート調査
 - 郵送にて調査票発送・回収。
- 一部インターネット調査
 - パソコンやスマートフォンから回答できる画面を用意し、郵送アンケートの調査票にURL・QRコードを記載。

▶ 調査期間

- 調査票発送 : 2025年12月上旬から順次発送
 - 個人情報保護の観点より、アンケート・返信用封筒を封入し切手を貼ったものを各市町に送付し、各市町で宛名を貼り投函いただいた
- 回答締切 : 2026年1月23日（消印有効）
 - 24日以降1月中の回収分は有効回答数に含む

▶ 回収数

- 625件（回収率 31.3%）
 - うち、インターネット回答 188件

説明Ⅲ

交付金以外の財源を活用した取組み

大阪・関西万博会場や空の玄関口である関西国際空港万博PRブースに出展し
徳島東部エリアの魅力を発信



“KANSAI Tourist Information”での観光PR (5/2-3)



スマホ一日乗車券CPクーポン配布 (5/15)



県主催イベント「徳島のなつやすみ」での観光PR (7/27-28)



関西国際空港万博PRブースでの観光PR (8/3-4)

大阪・関西万博会場から高速バスなどで徳島へ訪れる旅行者向けに
徳島駅周辺にある地元ならではの飲食店や観光スポットを紹介する冊子を制作



徳島駅構内万博PRブースや観光案内所、宿泊施設等に設置

徳島県東部エリアへの誘客に向けた取組（イベント等出展）

令和7年度は13回のイベント等に出展し、来場者に徳島東部エリアをPR

No.	日程	タイトル	会場
1	5/2-3	EXPO2025関西観光推進協議会 万博会場内観光ブース出展	大阪府
2	6/21	2025 THE AWAODORI -序章- 徳島の本気、渋谷で乱舞	東京都
3	6/28-29	阿波おどり×ひろしま安芸高田神楽～伝統の舞、万博の街へ～ in大阪2025	大阪府
4	7/27-28	徳島のなつやすみ	大阪府
5	8/3-4	関西国際空港万博PRブース出展	大阪府
6	8/15	にっぽん丸寄港に合わせた観光PRブース出展	徳島市
7	8/18	にっぽん丸寄港に合わせた観光PRブース出展	小松島市
8	8/31	天神天満阿波おどり	大阪府
9	9/7	徳島県人会近畿連合会定期総会と県人の集い	大阪府
10	9/11	「まちづくり×MICE」万代中央ふ頭でのユニークベニュー	徳島市
11	9/25-28	ツーリズムEXPOジャパン（再掲）	愛知県
12	11/1-2	徳島おどりフェスタ2025・とくしま祭2025	徳島市
13	12/15	飛鳥Ⅲ 寄港に合わせた観光PRブース出展	小松島市



2027年度大鳴門橋自転車道完成を見据え、徳島東部と南あわじの歴史・文化・自然のつながりにスポットライトを当てた、両地域を同時に楽しめる3つのモデルコースを造成



「鳴門ブルーを彩るこだわり旅」ランディングページ
※2026年4月公開予定

モデルコース（最終調整中）

① 藍と人形浄瑠璃がつなぐ阿波路(淡路)旅【バスツアー】

Day1 阿波十郎兵衛屋敷(人形浄瑠璃公演と特別解説)→
藍の館(藍染体験・奥村家再現料理)→うずしおクルーズ
Day2 淡路人形座→淡路瓦製作体験→有馬玩具博物館



奥村家再現料理

② 水がつなぐ阿波路(淡路)旅【バスツアー】

Day1 沼島→おのころクルーズ→うずしおクルーズ
Day2 ウチノ海(筏釣り体験)→フレンチモンスター→道の駅くるくるなと

③ 自転車でつなぐ阿波路(淡路)旅【レンタサイクル利用】

【Aプラン】

Day1 陸の港西淡→おのころ神社→慶野松原→海の展望広場/弁天島→
うずの丘→道の駅福良→陸の港西淡
Day2 UZU PARK→堂浦→渡船→島田島(古代蓮・フレンチモンスター等)→
大毛島(渦の道・千鳥ヶ浜等)→渡船→岡崎→UZU PARK

【Bプラン】

Day1 海上ホテル→あわじ水仙ライン→おのころクルーズ→
阿万海水浴場→若者の広場公園→海上ホテル
Day2 UZU PARK→岡崎海岸→旧撫養街道→勝瑞城跡→
藍の館→大麻町コウノトリ見学→本家松浦酒造場



鳴門市のコウノトリ



台湾の旅系インフルエンサー 施宛兒ゆずき氏がSNSで発信 ※2026年4月予定



国際会議に合わせて、県観光協会等と連携しユニークベニューを活用したイベントを開催
会議参加者と地域住民との交流を通じ、「まちづくり×MICE」の可能性と重要性を実証



イベント概要

名 称 「まちづくり×MICE」万代中央ふ頭でのユニークベニュー
～ICASI2025 ウェルカムパーティー「Pier MICE」～
日 時 2025年9月11日(木) 18:00-21:00 ※地域住民は16:00-
場 所 徳島市万代町 BANDAI CAFE、第二倉庫アクアチッタ、万代中央ふ頭
開催者 主催：ICASI2025 共催：とくしまMICEコンソーシアム(仮称)
概 要 日本鉄鋼協会が主催する国際会議（ICASI2025）の参加者約100名
と地域住民が参加できるイベント
文化体験、ミニ音楽花火、阿波おどり、キッチンカーなどの多数の催しを企画
弊機構は書道体験と観光案内ブースを担当



書道体験・書道パフォーマンス（協力：幸デザインスタジオ）



ツーリズム徳島と共同で
観光案内ブースを出展

多くの地域住民も来場し国際会議参加者と交流

来訪者がスマホやタブレットでQRコードを読み取ると、観光施設のデジタルパンフレットが表示され、音声案内も聞けることができる多言語デジタルガイドを制作



■ 対象施設

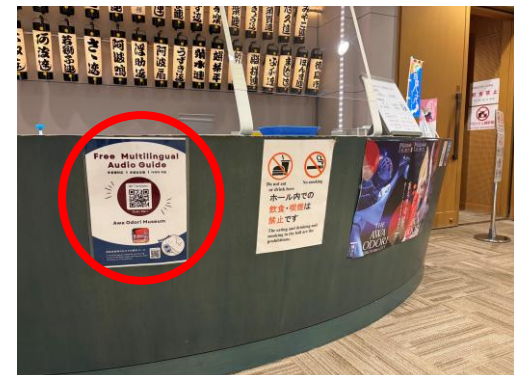
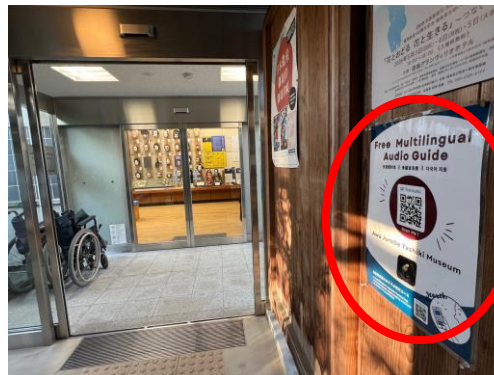
- 1 ひょうたん島周遊船 (徳島市)
- 2 阿波おどり会館 (徳島市)
- 3 あわぎん眉山ロープウェイ (徳島市)
- 4 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 (徳島市)
- 5 藍住町歴史館 藍の館 (藍住町)
- 6 上勝町ゼロ・ウェイストセンター (上勝町)
- 7 RISE & WIN Brewing Co. (上勝町)
- 8 山犬嶽 (上勝町)
- 9 阿波の土柱 (阿波市)

サステナブルな観光コンテンツを選定！

■ 対応言語

日本語
英語
中国語 (繁体字／簡体字)
韓国語
フランス語 ドイツ語
イタリア語 スペイン語
タイ語 インドネシア語
ベトナム語 タガログ語
マレー語 ヒンディー語

全15言語に対応！



対象施設の入口等に設置されたポップのQRコードから多言語デジタルガイドが利用可

受入環境の整備 | インバウンド受入環境整備事業助成金（R7新規）

外国人観光客の利便性や満足度の向上のため
東部圏域15市町村の観光事業者が行う受入環境整備に係る経費の一部を助成

令和7年度は14事業者が活用

イーストとくしま インバウンド受入環境整備事業助成金

外国人観光客の利便性や満足度の向上のため、
徳島県東部圏域15市町村の観光事業者が行う受入環境整備に係る経費の一部
に対して、助成金を交付します。

上限 **10万円** (予算額に達し次第終了)

※助成対象経費の2分の1以内または上限額のいずれか低い額を対象とします。

徳島県東部圏域15市町村
徳島市・鳴門市・小松島市・吉野川市・阿波市・勝浦町・上勝町・佐那河内村
石井町・神山町・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町

助成対象者

域内で以下の事業を
営む事業者又は団体
宿泊事業者
飲食事業者
交通事業者
商業施設事業者
観光事業者

助成内容

施設の案内表示や利用方法等の説明書きの多言語化
パンフレットやホームページの多言語化
商品メニュー等の多言語化
多言語音声翻訳機器の導入
無料Wi-Fi利用環境の整備
キャッシュレス決済システムの整備 など

対象経費

消耗品費、印刷製本費、書籍資料
委託料、工事費、備品購入費など

申請期間

令和7年5月15日から
令和8年2月10日まで

情報発信

助成事業者は整備した内容の情報発信に努めること

申請事業実施期間

交付決定の日から
令和8年3月6日まで

「交付要綱」
「申請様式」
「Q&A」など

詳しくはイーストとくしまの
ホームページをご覧ください



商品メニューやパンフレット等の多言語化



多言語サインの設置



多言語音声翻訳機器の導入



キャッシュレス
決済システムの整備

お問い合わせ
一般社団法人イーストとくしま観光推進機構

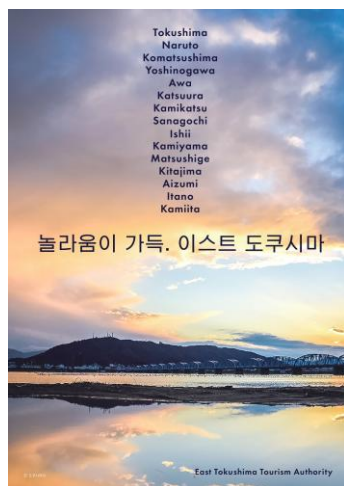
☎088-678-2811
✉info@east-tokushima.jp
担当：仁木・久米



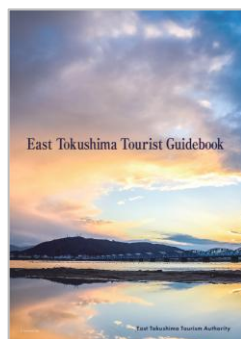
プロモーションツールの多言語化

国際定期便就航により急増している韓国人旅行者向けに
徳島東部エリアガイドブック（旅ガイド）韓国語版を制作
Instagramも新たに韓国語と繁体字アカウントを開設

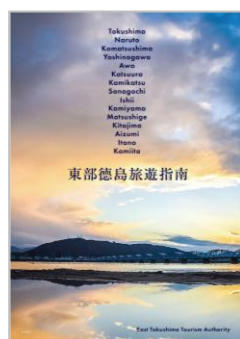
■ 旅ガイド



韓国語版 (R7新規)



英語版



繁体字版



■ Instagram



韓国語アカウント (R7新規)



繁体字アカウント (R7新規)

訪日外国人観光客動向調査

徳島市を訪れた訪日外国人観光客の需要や
観光に対する認知度・満足度等をWebアンケートで調査
※徳島市受託事業として、市内の観光施設・宿泊施設等のほか
徳島阿波おどり空港でも実施 (11/17-2/28)



Scan the QR code!

扫描二维码!

QR 코드를 스캔하세요!

Conducted by the Tokushima city
由徳島市主办
由徳島市執行
도쿠시마시 주관으로

We Need Your Feedback!

我們期待您的寶貴意見！
我們需要您的意見回饋！
여러분의 의견을 기다립니다!

This is a survey about traveling to Tokushima City. Ten participants will be selected by lottery to receive prizes such as a \$100 Amazon gift card. The survey takes about 5 minutes to complete.

这是一项关于徳島市旅遊的問卷調查。我們將透過抽獎方式選出十位參與者，贈送100美元亞馬遜禮品卡等獎品。問卷填寫時間約需5分鐘。

本問卷旨在收集徳島市旅遊相關意見。將透過抽獎方式選出十位參與者，贈送價值100美元的亞馬遜禮品卡。問卷填寫時間約需5分鐘。

쿠시마 시 여행에 관한 설문조사입니다. 추첨을 통해 1명의 참가자에게 100 달러 상당의 아마존 기프트 카드의 경품이 제공됩니다.

表面に徳島市内の観光スポット等(4種類)を
裏面にWebアンケートのQRコードを記載した
フォトカードを対象者に配布

回答者数：503名 ※回答結果は分析中

徳島県内の遍路に関する意見交換会 (R7新規)

外国人お遍路さんの受入に関する課題などを情報共有し
持続可能な四国遍路の受入環境構築を目指すため
札所寺院、観光事業者、行政等による意見交換会を開催
※徳島経済研究所との共催事業



<開催実績>

- ・第1回(5/12) @第19番札所 立江寺
- ・第2回(9/11) @第19番札所 立江寺
- ・第3回(12/8) @阿波銀行本店営業部
- ・第4回(3/4) @第19番札所 立江寺

<意見交換の主な内容>

- ・四国遍路の現状、遍路宿の受入れやノーショウ問題
- ・Airbnbの活用策
- ・欧米豪からの四国遍路への誘客策 など

米国センター大学海外スタディツアー

米国ケンタッキー州センター大学の学生9名が
海外スタディツアーとして県内全23か寺を歩き遍路
弊機構も一部同行し意見交換や現地での案内等を実施
※本スタディツアーは3回目の来日、エアトラベル徳島が受入対応



歩き遍路体験のPR

徳島東部エリアでの歩き遍路の一日モデルコースを紹介した
チラシ(日・英)を制作し、大阪・関西万博 徳島県ゾーンで
開催された四ツ創主催のお遍路イベントにてPRを実施



徳島の“道”をめぐるFAMツアー（韓国ブローガー招聘）

韓国出身の2名のブローガーを招聘し、日本の古き良き伝統文化を感じることができる「道(どう)」に、徳島ならではの要素を組み込んだ体験型旅行ツアーを実施

2025.12.15	徳島の“道”をめぐる FAM ツアー
9時	ダイワロイネットホテル 出発
9時	味噌産見学、味噌食べ比べ SPOT1 井上味噌醤油 徳島にある味噌産地、昔ながらの木桶で仕込む味噌作りと味噌作り体験のた めの伝統的な味噌産地についてのお話を伺います。
11時	四国遍路の一巻札所 SPOT2 市田八幡宮 兼 徳島県 霊山寺 四国遍路の一巻札所のお寺でここから遍路の旅をスタートする決意を固める 場所。本堂の瓦葺きが美しいお寺です。
12時	和食ランチ SPOT3 大島屋南 霊山寺のすぐそばに佇む隠れ家。家庭的な雰囲気の中で、専門の新 鮮な海の幸と山の幸を堪能するランチをいただきます。
2時	日本酒産見学 SPOT4 新島酒造 徳島県酒造会に使用し、近年では徳島で販売された「LED 徳島酒」 を使った日本酒も出ています。
3時	阿波晩茶の茶会 SPOT5 佐藤内村 茶会 阿波晩茶は、伝統製法が評価され国の重要無形民俗文化財に指定され た発祥地。異様な味わいを飲み比べて楽しみます。
6時	SPOT6 神山温泉ホテル 到着



2025.12.16	徳島の“道”をめぐる FAM ツアー
8時	神山温泉ホテル 出発
8時	神社参拝 SPOT1 上之宮大黒神社 徳島の国神であり、最古の神「オガサハヒメ」を祀る神社へ参拝。石段を上ると大黒神社は徳島県最古の神社とされています。
9時	ブルーベリー見学 SPOT2 KAMUYAMA BEER 「ブルーベリー」神山町へ参拝したご夫婦が営む「ブルーベリー」独自の 法でブルーベリーを栽培しています。
10時	香道体験 SPOT3 神山ブルー・サタライトオフィス・コンプレックス (KWSOC) 日本文化を体験する「香道」。伝統的な香道具に触れながら、今日の 旅にちなんで香道を体験していただきます。
12時	ランチ SPOT4 神楽酒造 第1回「年の瀬をノバフレンチ」大会会場。こちらのお食事どころ で徳島県内の名産品を使ったランチをいただきます。
2時	ゆづり見学、買い物 SPOT5 山神楽酒造 伝統的な「ゆづり」製造工程を見学。山神楽酒造株式会社のフクトリショップ。広大な樹 木の敷地が美しい。柑橘類を使ったお菓子やスイーツ製品などを 楽しめます。
4時	徳島阿波おどり空港 到着
5時	フライト



NAVERブログ・Instagramで発信

■キム・ヤンヒョン氏



NAVER



Instagram



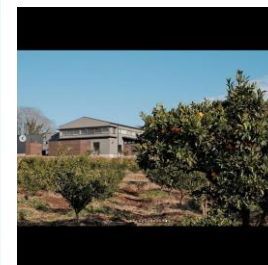
■ウ・スンミン氏



NAVER



Instagram



阿波藍染めの振興と徳島らしさを感じられる魅力的なまちづくりを推進するための助成制度
令和7年度は8事業者が藍のれんを制作 ※令和3年度から累計で128件



徳島東部圏域の11の工房がのれんを制作



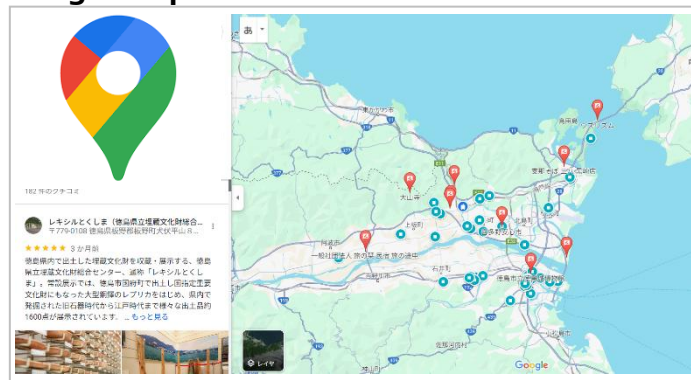
徳島東部エリアを旅の候補地に入れてもらうべく、観光スポットや体験の情報を拡充

■ Webサイト



R6 約53万回 表示 ▶ R7 約54万回 表示 (前年比 102%)

■ Google Map



投稿した写真の閲覧数 累計2,300万回 突破
R6 約1,924万回 ▶ R7 約2,373万回 (449万回増)

■ Facebook



フォロワー数 R6 3,347 ▶ R7 3,376 (前年比 101%)

■ Instagram



フォロワー数 R6 19,428 ▶ R7 20,425 (前年比 105%)

■ X



フォロワー数 R6 3,502 ▶ R7 2,975 (前年比 85%)

統一感をもたせ、リール投稿・広告配信でリーチを拡大し、フォロワー獲得

①表紙付き投稿による統一感の向上・世界観の醸成



②安定したリール投稿と広告配信

- ・ 月間8本の投稿
(うち半数以上はリール動画)
- ・ 広告を配信することで、
徳島への旅行に関心を抱く興味関心層にリーチし
フォロワー獲得に寄与
(Instagram・Facebook)

※阿波おどり期間（8/11-15）には
「徳島に滞在中」のユーザーを対象に広告を配信。
※キャプションの日本語/英語併記は
R5年度より継続。

R7.3 19,428人

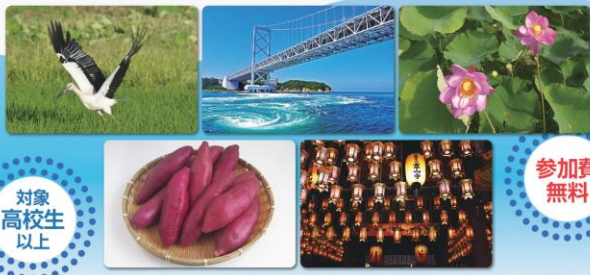
▶ R8.3 インスタグラムフォロワー数

20,425 人 (997人増↑)
うち 49.1%が外国人

県立総合高等学校主催の県民向け講座に弊機構職員が講師として参加（第1・3回） 鳴門市における観光の高付加価値化や持続可能な取組をテーマに講義・現地研修を実施

あなたの参加で地域が生き、徳島が元気になる！
徳島県立総合高等学校主催

とくしま“ひと・まち”づくり実践講座 「地域資源を生かした高付加価値化と 持続可能なまちづくり～鳴門市から学ぶ～」



対象 高校生以上

参加費 無料

とくしまの未来に関心を持ち、地域の活性化や未来に向けた特色ある地域づくりに興味のある幅広い世代の方にご参加いただける講座です。

第1回	第2回	第3回
2/1日	2/8日	2/22日
講義 [オンライン配信あり]	講義 [オンライン配信あり]	現地研修 [定員20名]

申込期間 令和7年12月22日(月)～令和8年1月20日(火) 午後5時

徳島県はSDGsの取組を推奨します

▶連続した全3回の講座です。第3回現地研修のお申込は、第1回・第2回ともすべてご受講される方に限ります。
▶第1回、第2回の受講方法は、会場・当日オンライン配信・期間限定オンデマンド配信、どちらをお選びいただいても構いません。
▶現地研修を希望されていても、第1回または第2回講座を欠席された場合、ご参加いただけないこともございます。あらかじめご了承ください。
▶定員を超えた場合、抽選により受講者を決定させていただきます。
▶第1回または第2回講座のみをご受講いただくことも可能です。

第1回 (2/1) 講義

県立総合教育センター及びオンラインにて、鳴門市の観光事業者の皆様と取り組んだ観光庁の地域一体事業(高付加価値化事業)について、その背景や取組内容を紹介



第3回 (2/22) 現地研修

<訪問先>

- ①霊山寺、門前一番街：四国遍路について(公認先達 藤本氏)
- ②鳴門公園、イカル・鳴門：鳴門公園における取組(鳴門観光興業/NKK 森下常務)
- ③tonaruSHIMADA：コウノトリに関する取組(とくしまコウノトリ基金 柴折事務局長)



説明Ⅳ

各種KPI指標



地域再生計画数値目標数値（重要業績評価指標KPI）について

※ 資料4 実施計画より

項目		2019(R1) 計画前 推計値	2021(R3) 1 年目	2022(R4) 2 年目	2023(R5) 3 年目	2024(R6) 4 年目	2025(R7) 5 年目	KPI増加分 の累計
1人あたり観光消費額 (千円)	目標	38	42 (+4)	44 (+2)	40 (-4)	43 (+3)	50(+7)	12
	実績		22(-16)	33.1(+11.1)	32.8(-0.3)	37.3 (+4.5)	40.5(+3.2)	2.5
延べ宿泊者数 (万人)	目標	200.0	220.0(+20.0)	235.0 (+15)	203.5 (-31.5)	208.5(+5.0)	230.0(+21.5)	30
	実績		110.2(-89.8)	134.7(+24.5)	181.7(+47.0)	203.2(+21.5)	220.4(+17.2)	20.4
来訪者満足度 (大変満足・%)	目標	26.0	28.0(+2.0)	29.0(+1.0)	26.0(-3.0)	27.0 (+1.0)	30.0(+3.0)	4
	実績		41.0(+5.0)	41.0(±0)	38.7(-2.3)	44.6 (+5.9)	35.2(-9.4)	-0.8
※ 住民満足度 (とても満足 及び満足・%)	目標	-	-	35.5(+2.0)	36.5(+1.0)	37.5(+1.0)	38.5(+1.0)	5.0
	実績		33.5	32.3(-1.2)	35.0(+2.7)	36.5(+1.5)	36.3(-0.2)	2.8

※R3にはじめて実施。3か年増加分「+3%」を達成するため、R4+2%、R5+1%の目標設定とする。

令和7年度達成状況について

- ・地方でも、インバウンドが増加傾向で、**観光消費額や延べ宿泊者数ともに増加したが**、計画値には届かなかった。
- ・来訪者満足度は、対前年度比から9.4ポイント減少した。
- ・住民満足度では、625件のサンプル数を回収したが、地域で暮らす満足度が対前年度よりも0.2ポイント減少した。



その他のKPI達成状況について

出典：観光庁ほか

項目		2021		2022		2023		2024		2025	
リピーター率 (%)	目標	54.3		54.3		54.5		54.5		54.5	
	実績	50.6	93.2%	53.4	98.3%	48	88.1%	49.8	91.4%	53.5	98.2%
累計Webサイト アクセス数（万PV）	目標	120.0		150.0		130.0		160.0		190.0	
	実績	67.5	56.3%	104.7	69.8%	158.2	121.7%	215.2	134.5%	266.3	140.2%
観光入れ込み客数 (万人)	目標	1480.0		1495.0		1400.0		1420.0		1450.0	
	実績	847.9	57.3%	1063.5	71.1%	1201.5	85.8%	1303.9	91.8%	集計中	
着地型旅行商品 造成数 累計	目標	60		80		100		120		140	
	実績	108	180.0%	120	150.0%	138	138.0%	162	135.0%	172	122.9%
ツアー造成 支援数 累計	目標	75		100		125		150		175	
	実績	58	77.3%	83	83.0%	106	84.8%	130	86.7%	161	92.0%

令和7年度達成状況について

- ・来訪者リピーター率は、**前年度より上昇し、目標値に近い実績値となった。**
- ・累計Webサイトアクセス数は、**順調に増加しており、認知度向上が図られている。**
- ・着地型観光旅行商品造成数は順調に増加しており、引き続きプロモーションの強化に努める。
- ・ツアー造成支援数では、目標値には届いていないが、毎年一定数増加している。



○ お問い合わせ先

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構

電 話：088-678-2811

メール：contact@east-tokushima.jp